



広報

つがる

2005

6.15

No.9

市の人口と世帯数(平成17年6月1日現在) 人口 40,172人(男 19,299人/女 20,873人) 世帯数 13,100世帯



33年ぶりに虫頭を新調

5月28日、稲垣町千年町内会(佐々木修会長)が郷土の伝統行事「虫送り」を行いました。

今年はつがる市誕生を記念し、33年ぶりに虫頭を新調したもので、会員総出で虫送りの化粧直しや町内の草刈等の準備をし、同町内を山車が練り歩き、登山ばやしや太刀振り踊りで無病息災、五穀豊穡を祈願しました。

主な内容

つがる市誕生記念式典・演奏会・講演・棟方志功展	2~3
田植えの体験学習	4
食育体験学習が始まる	
新鮮で安全な野菜や加工品を直売	5
つがる市課・係の主な業務内容と職員の紹介	6
起震車で防災訓練	
健康推進課だより	7
街の話題	8~9
つがる市民健康マラソン大会参加者募集	10

誕生記念



記念式典

つがる市誕生を祝う

五月十五日、つがる市誕生記念式典が生涯学習交流センター「松の館」で行われ、関係者および三百名が出席し、つがる市誕生を祝いました。

式典では、福島市長が「つがる市には祖先から受け継いだ水田と畑作地というかけがえのない豊かな大地があります。そこからとれるすぐれた品質の農産物をつがるブランドとして内外の消費者に提供していきたい」と式辞を述べました。

ついで総務省の田村政志行政評価局長からつがる市誕生に貢献した、福島弘芳旧木造町長ほか五名に総務大臣表彰を伝達しました。また、福島市長がつがる市誕生に貢献した浅田直利旧木造町助役ほか四名に感謝状を贈りました。その後、三村青森県知事、木村太郎衆議院議員がお祝いの言葉をのべ、アトラクションでは、出野里小学校児童による獅子踊りと下繁田小学校児童による荒馬と太刀振りが披露され、式典に花を添えました。

※総務大臣表彰

福島弘芳旧木造町長

佐藤昭三旧森田村長

古坂英旧柏村長

蝦名魏旧稲垣村長

成田佐太郎旧車力村長

盛賞旧合伊協議会会長

※感謝状

浅田直利旧木造町助役

木村良博旧森田村助役

菊地久雄旧木造町収入役

平川満昭旧柏村収入役

成田悦雄旧車力村収入役



荒馬と太刀振り（下繁田小学校）



出野里獅子踊り（出野里小）

つがる市

合併記念 演奏会・ 講演



演奏会

つがる市誕生を記念して航空自衛隊北部航空音楽隊による演奏会と伊奈かつべい氏による「今。そしてこれから」の記念講演に、市民らおよそ500人が集まり見事な演奏とユーモアあふれる講演を楽しみました。



講演会



テープカットする関係者

棟方志功展

五月十五日から三十一日まで、柏ふるさと交流センターで、つがる市誕生記念と青森市の棟方志功記念館の開館三十周年を記念して、「棟方志功展」が開催されました。

開催セレモニーでは福島市長が「多くの方々に棟方志功画伯の優れた芸術作品を見てもらい、文化芸術に対する気運の醸成を期待します」と挨拶し、その後関係者によるテープカットで開幕をお祝いしました。

この十七日間で会場には千七百二名が訪れ、板画や倭画など三十四点の作品を熱心に鑑賞しました。



作品の説明を受ける福島市長

田植えの体験学習

柏小学校

五月二十四日、柏小学校五年生の児童五十二名が田植えを行いました。児童らは、おじいちゃんやおばあちゃんから、形付けや苗の植え方を教わった後、裸足になり田んぼに入りました。家で手伝っているのか慣れた手つきで、苗を植えています。児童たちは、秋の収穫感謝祭でのもちつきを楽しみしながら、田植え体験を終えました。



育成小学校

五月二十日、育成小学校児童六十九名が田植えを行いました。田植えは、上相野の今輝義さんの田んぼを利用して行なわれたもので、低学年の児童らは足をとられて動けなくなったり、転んでしまう児童もいました。秋には収穫祭が予定され、もちつき大会や老人クラブによるくじ引きや輪投げなどの出店が開かれます。



牛瀧小学校

五月二十九日、牛瀧小学校児童らによる田植えと虫送りが行われました。田植えでは、田んぼに足をとられながらも一生懸命に苗を植えています。その後虫送りが行われ、ユニークな化粧をした親子が太鼓のリズムに合わせて元気に踊り、見事な太刀振りを見せ周囲を楽しませていました。

この田植え・虫送りはPTAが中心となり毎年行なわれているもので、地域の伝統行事を積極的にを行い、親子のふれあいを深めていることから、平成十年、文部大臣賞を受賞しています。



下繁田小学校

五月十七日、下繁田小学校児童十七名が、学校田で田植えを行いました。

当日は保護者と地域の方十五名が応援に駆けつけました。児童は、お年寄りから形付けや苗の植え方の指導を受け、裸足になり苗を手に田んぼに入りました。

高学年は慣れた手つきで次々と植えました。低学年は泥に足を取られ、立ち往生する場面もありました。児童らは、秋の収穫感謝祭でのもちつきを楽しみに苗を植えています。



食育体験学習が始まる

川除小学校

五月九日、川除小学校で、食育体験学習の開会式が行なわれました。

この体験学習は、川除小学校児童で構成する農業探検クラブが行っているもので、一年間を通じて花やジャガイモ作り等を体験し「育てる・作る・食べる・考える」を学ぶものです。

この体験のために、つがる市農業士会（会員五十七名）からマリーゴールドとベチュニアの苗計百九十二鉢と、西北地方農林水産事務所から男爵薯等十種類のジャガイモの種計二十五キロがプレゼントされました。

花の苗を提供した農業士会で



ジャガイモの苗を植える児童



農業士会から花の苗をプレゼント

は、子どもたちに花壇づくりを通して「環境の美化」や「育てること」の大切さと、地域の農業の理解を深めてもらうため、毎年、会員が育てた花の苗を管内の小学校に贈呈しており、今年には市内小学校七校に合計九百六十鉢の苗を贈呈しました。

同クラブでは、農業士会や同事務所（普及指導室つがる普及分室）の支援を受け、五月から十二月までを活動期間として、花の苗やジャガイモの定植、各種野菜の収穫祭、酪農体験学習、郷土料理講習会、調理実習、体験学習の発表会を通して、いのちを育む「食」を生み出す農業や地域の食文化の理解を深めていくことにしています。

新鮮で安全な野菜や加工品を直売

市内には、新鮮で安全な旬の野菜や自然の恵みいっぱい山菜、お母さんたちの工夫と技がきらめく加工品等を揃えて直売り販売している施設や開催している場所があります。

6月2日には木造夕市がオープンし、新鮮な野菜や加工品を買い求める市民で賑わいました。



6月2日オープンした木造夕市

こしみずヤサイ市

場所 森田町101号線沿い
営業期間 五月中旬～十一月（毎日開催）

営業時間 午前六時～午後三時
【特徴】春の野菜や花の苗から始まり、トマト、ナス、キュウリ、スイカ、メロンなど好評。加工品は、うんぺい、ドーナツ、笹餅、赤飯等。

おらおこし拠点館「フラット」

場所 豊富町県道鯉ヶ沢蟹田線沿い
営業時間 午前九時～午後六時（冬期間は午後五時まで）

定休日 毎週月曜日（祭日の場合は翌日休み）

【特徴】特産の長芋と牛蒡は年中販売。野菜苗や季節毎に珍しい植木。加工品は、長イモ入り生菓子、ドーナツ、蒸しパン、薫製チーズ、薫製卵、メロンソフトクリーム等。

まじこつ市

場所 稲垣町JAつがる本店敷地内
営業時間 五月～十一月は、月・水・金・日曜日、午前五時から午後四時。十二月～四月は、毎週金曜日午前八時～正午。

【特徴】新鮮野菜、花。加工品

は、トマトジュース、トマトゼリー等。

特産品直売所

場所 柏101号線沿い
営業時間 午前八時～午後五時
定休日 年末年始

【特徴】野菜、果物、花。加工品は、じよっぱりリンゴジュース、しそドリンク、リンゴジャム、しそのとう、豆腐、寄席豆腐、しとぎ餅、漬け物、ニンニク練りみそ等。

おらほのめへ

場所 森田町道の駅もりたアーストップ
営業時間 午前九時～午後六時
定休日 第二、四火曜日（変更になることがある）

【特徴】朝一番で採れた新鮮野菜や果物。加工品は、アップルパイ、カボチャパイ、黒豆ジュース、干し餅のパター焼き等。

木造夕市

場所 月曜日 市商工会前広場
木曜日 木造農産物加工センター

営業時間 六月から八月は午後三時三十分から、九月～十月は午後三時から

【特徴】新鮮な野菜や花、採りたての山菜やしじみ。加工品は、手作り豆腐、笹餅、赤飯、こだわり納豆等。

つがる市課・係の主な業務内容と職員を紹介します

＜福祉部＞ 部長 高橋 勉
次長兼福祉課長 長谷川正人

福祉課 課長補佐 佐々木四郎 須藤正行
葛西敦

福祉総務係 (社会福祉、民生委員、社会福祉統計等)

係長 白戸光治

係員 小山内祥子

児童福祉係 (児童手当、乳幼児医療費給付事業、保育所及び児童館等)

係員 伊丸岡裕美子 外崎鎮子

高齢福祉係 (地域福祉計画、高齢化社会対策、シルバー人材センター等)

係長 鳴海昭子

係員 伊藤幸子 小寺拓

介護保険係 (介護保険資格管理、要介護認定、保険料賦課及び納付管理等)

係長 白戸登

係員 楠美秀子 宮川久美子 蝦名準
野呂文子

保健師 島谷富美子

障害福祉係 (障害者福祉、障害者支援費等)

係長 長谷川光子

係員 山口彰規

健康推進課 課長 境宏
課長補佐 工藤清嗣 木村浩幸

健康管理係 (健康づくり、保健協力員、献血推進、保健センター管理運営等)

係長 野呂博己

保健予防係 (母子保健、老人保健、予防接種、食生活改善推進)

係長 杉森瑛子

主任保健師 米谷真紀子

保健師 小山真貴子 工藤明美 下山裕子
石岡秀子 木村さつき 兼平智秋

＜福祉事務所＞ 所長 成田豊美

生活係 (児童扶養手当、特別児童扶養手当の支給、特別障害者手当・障害者福祉手当及び福祉手当、日本赤十字社等)

係長 石岡年子

係員 下山栄子 工藤聡 尾野昭仁

保護係 (生活保護、戦傷病者特別援護、法外援護等)

係長 工藤幸司

係員 成田博子 工藤敏弘 木津谷昭弘
吉田真也 中野豊子 中西健
成田慎 工藤正輝

＜経済部＞ 部長 対馬誠一
次長兼農林水産課長 成田一司

農林水産課 課長補佐 安田敏 高橋寿
山谷光則

農政係 (農業振興地域整備計画、農業資金、担い手育成等)

係長 小山内健二

係員 木村ひろ子 三上久喜 梶浦宏文

農業振興係 (農産物加工推進、地域水田農業ビジョン、農産物の生産計画等)

係長 稲場慎也

係員 吉岡登美子 長内真樹子

工藤一志 福井亨

畜産林務係 (畜産振興、有害鳥獣、森林整備等)

係長 増田俊正

水産振興係 (水産振興、漁港維持管理、漁業の取締等)

係長 成田幸成

農村整備課 課長 盛行春
課長補佐 台丸谷積 粕谷正治

事業計画係 (農漁村整備管理計画、土地改良団体等)

係員 越後谷清芽

土地改良係 (土地改良事業、農業用施設等維持管理(災害普及事業)等)

係長 山口一寿

商工観光課 課長 三上輝光
課長補佐 片山徳明

観光係 (まつり、観光事業の企画・推進、国定公園、自然保護等)

係長 半田味根江

係員 佐藤貴行 渋谷直人 西巻公嗣

商工労務係 (計量器の検査、商工業の振興、企業誘致等)

課長補佐兼務

＜会計課＞ 課長 川嶋芳仁
課長補佐 安田勝彦 野呂政弘

出納係 (現金の出納、支出負担行為、歳入歳出現金の出納管理等)

係長 小嶋睦子

係員 栗田幸治 齋藤亜由子

経理係 (有価証券管理、決算、指定金融機関、税・税外収入の消込み等)

係長 葛西日出子

係員 木村まり子

起震車で防災訓練

館岡小学校

五月二十日、館岡小学校で地震による防災訓練を行いました。午前十一時に校舎のベルがなり、全校児童三十九名は先生の指示にしたがって素早く校庭に避難しました。

その後、地震の恐ろしさを肌で体験してもらいたいと、防災指導車（起震車）を使って阪神大震災、三陸はるか沖地震、日本海中部地震など、過去の地震の揺れを再現し体験しました。

児童は揺れを最初は楽しそうにしていますが、校長先生の体験談を聞き、地震の本当の怖さと、防災訓練の大切さを感じていました。



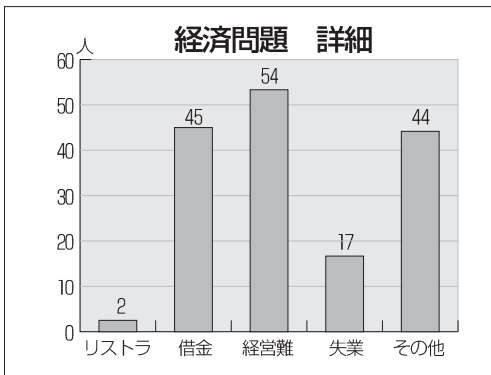
健康推進課だより

心の健康づくりシリーズ③

今回は、ストレスの原因となる経済問題と対人関係等の結果をお知らせします。

●経済問題が「大いにある」十五・六%、「多少ある」三八・二%でした。

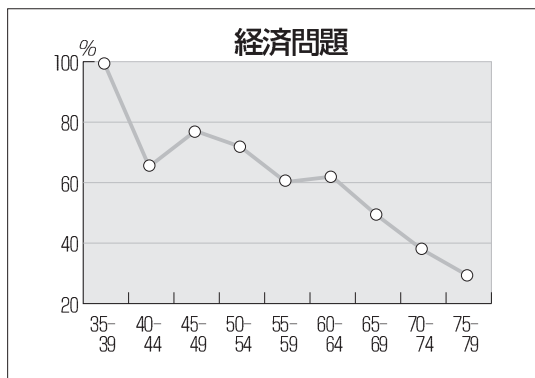
●経済問題を詳しく見ると、「経営難」「借金」が多く、その職業は農業でした。



●経済問題を年齢で見ると、若い人ほど問題を感じ、年齢がかさむに連れて減っています。

●自殺を考えない人より自殺を

考える人に経済的な問題を感じる人が多い。



●対人関係では「多いにある」三・七%、「多少ある」二四・九%、「あまりない」四五・八%、「全くない」一六・三%だった。女性の方が対人関係で悩んでいる割合が多い。

●対人関係を詳しく見ると、「同居の家族」が最も多く、次いで「仕事関係」「近所」でした。

●今後「心の相談窓口が必要か」では、若い人ほど必要と答え、年齢をかさねるに連れ減って

います。

●うつ病の知識についても、若い人ほど知っており、年齢がかさむにつれ減っています。女性の方がうつ病について知っています。

●生きがいについて見ると、「健康である事」「子や孫の成長」「畑・土いじり・園芸」の順に多かったです。

●「毎日が充実している」「今までどおり楽しんでできる」は年齢がかさむほど、そう感じていきます。

●「死」や「自殺について考える」のは、五十～六十四歳に多く、男性の自殺死亡者の年齢と一致しています。

以上が大まかなアンケート結果です。心の健康づくり講演会や、アンケート調査を行なった地区には結果報告と紙芝居を上演しています。十七年度も講演会などを継続していきます。

心の健康づくりは地域づくりでもあり、市民みんなで、元気で住みよい「つがる市」を目指し取り組みを展開しましょう。

☆お問い合わせは、健康推進課まで。
内線二四二

毎年6月23日から6月29日までの1週間は

「男女共同参画週間」です。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる社会その実現のためには、みなさんひとりひとりの取組が必要です。

私たちのまわりの男女のパートナーシップについてこの機会に考えてみませんか？

今年度の標語 「ゆめ育て、人を育てる 共同参画」

問い合わせ 市役所財政部企画課男女共同参画推進係 内線323

ベンセ湿原で草刈り ～木造老人クラブ連合会～

5月31日、木造老人クラブ連合会がベンセ湿原の遊歩道や駐車場の草刈りを行い、会員50名が参加しました。ベンセ湿原は6月上旬にはニッコウキスゲが咲いて黄色に染まり、7月上旬になるとノハナショウブの大群落で紫へと変わる大変貴重な湿原で、日本自然百選に指定されています。毎年1万5千人以上の観光客が訪れています。



田植え督励

5月13日 福島市長は市内の水田を回り、田植え作業をする農家を督励しました。

今年は雪解けが遅くなり、農家の田植えの時期が遅れたのに加え、この日は気温も低かったため、市長は「水の管理は充分気をつけて下さい」と激励しました。

カッパ広場の清掃奉仕 ～清寿会老人クラブ～

6月2日、清寿会老人クラブ（葛西賢三会長）の会員25名がカッパ広場（古田川の遊歩道）をきれいにしようと、草取りや除草剤散布等を行いました。

同クラブは清掃を中心としたボランティア活動を積極的に行っており、また、柏風園、向陽小学校などにも訪問し、交流を行っています。



ぎんなん荘を慰問 ～向陽小学校3年生～

6月1日、向陽小学校3年生の児童がぎんなん荘を訪ねました。

児童らはよさこいソーランを披露したあと、それぞれの部屋で、紙芝居や折り紙ゲームなどを一緒に楽しんでいました。

向陽小学校は総合学習の一環としてぎんなん荘を訪れ、入所者たちとのふれあう学習を毎年行っています。

ゆうあいの里を慰問 ～楽歌声の会・三味線愛好会～

5月29日、楽歌声（らっかせい）の会と三味線愛好会がゆうあいの里（豊富町）を訪れ、歌と踊りと三味線を披露しました。

楽歌声の会の歌と踊り、それに加えた楽しいトークや三味線愛好会の見事な音色に会場は大きな笑いと拍手につつまれ、入居者たちは楽しい時間を過ごしました。





17チームが参加 ～木造支部朝野球大会～

5月22日、つがる市芦屋グラウンドで木造支部朝野球大会の開会式が開かれました。

開会式では大会に参加する17チームの選手や関係者など約100人が集まりました。雪印牛乳の木村伸仁選手が選手宣誓を行い今季の健闘を誓い合いました。

これから県大会出場を目指し、7月下旬まで熱戦をくりひろげられます。

春のごみゼロ運動 ～木造コミュニティ実行委員会～

5月8日、木造コミュニティ実行委員会が「春のごみゼロ運動」として、木造地区内一円のゴミ拾いを行いました。

これは地域住民みんなが清潔できれいな環境づくりに取り組んでほしいと願い毎年行っているもので、木造地区の住民らおよそ100名がボランティアとして参加しました。



地産地消を進めよう ～ふるさとと産品消費県民運動～

5月14、15日、ジャスコ柏店で「ふるさと産品消費県民運動」の一環として、ふるさと産品フェア青森県「めじゃー市」が開催されました。このフェアは、地元産の安全で安心な農産物や水産物、加工食品を消費（地産地消）してもらおうと行われたもので、オープニングで福島市長は「地元で採れたものは地元で消費しましょう」とあいさつしました。



191名に保健協力員の委嘱状を交付

5月25日、松の館でつがる市保健協力員委嘱状交付式及び総会が行われ、191名に委嘱状が交付されました。

つがる市保健協力員会総会では、地区内住民の健康意識を高めるための諸活動を始めるにあたり、住民の衛生思想の向上を図ることから、総合検診などの、今年度の活動計画が承認されました。



今年最初の放牧 ぼくや ～屏風山牧野～

5月9日、車力屏風山牧野で黒毛和種肉用牛の放牧が始まりました。

冬の間牛舎で過ごした牛たちは、広々とした牧場で興奮を抑えられない様子で元気に走り回り、青々と茂った牧草を食べていました。

今年は19戸の畜産農家が約240頭の牛を放牧する予定となっています。

つがる市誕生記念 第1回

つがる市民健康マラソン大会参加者募集

- 1 目的 市民マラソン大会を通じて、参加者の交流を深めるとともに市民の健康増進に努める。
- 2 開催日 平成17年7月10日(日) 小雨決行
- 3 場所 つがる地球村円形劇場前(スタート・ゴール)
- 4 距離・区分
- | | |
|----------------------|-------|
| A 高校・一般男女 | 6 km |
| B 中学生男女 | 3 km |
| C 50歳以上男女 | 3 km |
| D 小学生4年生以上男女 | 3 km |
| E 小学生3年生以下ファミリー(フリー) | 1.5km |
- 但し、6 kmの高校・一般男女の上位入賞者は、県民駅伝大会出場の参考資料とする。
- 5 表彰 各種目1位～6位に賞状・副賞を授与する。
但し、ファミリーの部に記念品を授与する。
- 6 申込締切 平成17年6月30日(木)
- 7 日程
- | | | |
|------|-----------|----------------------------|
| 受付 | 7:30～8:30 | (つがる地球村円形劇場前) |
| 開会式 | 8:45 | |
| スタート | 9:20 | A 高校・一般男女 6 km |
| | 9:50 | C 50歳以上男女 3 km |
| | 10:20 | D 小学生4年生以下 3 km |
| | 10:50 | E 小学生3年生以下ファミリー(フリー) 1.5km |
| | 11:20 | B 中学生男女 3 km |
| 閉会式 | 11:45 | |
- 8 その他 主催者は、事故についての当日の障害保険及び応急処置を除く一切の責任を負いません。
貴重品、手荷物などは各自の責任で保管してください。盗難、紛失などの責任は主催者側は負いません。
競技中は役員及び係員の指示に従ってください。
ゼッケンは主催者側で用意します。

※参加料は無料です。どなたでもご参加ください。

●申込先・問い合わせ先

教育委員会スポーツ健康課	木造若緑52	TEL 49 - 1193
柏支局(柏ふるさと交流センター内)	柏広須松元102-1	TEL 25 - 2525
森田支局(森田公民館内)	森田町森田月見野119-2	TEL 26 - 2566
稲垣支局(稲垣体育館内)	稲垣町豊川宮川31の内	TEL 46 - 2854
車力支局(牛瀧公民館内)	牛瀧町鷲野沢29-789	TEL 56 - 2143

